

(様式)

東日本大震災対策委員会分科会の設置について

分科会等名：エネルギー政策の選択肢分科会

1	所属委員会名	東日本大震災対策委員会
2	委員の構成	若干名の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の流出・放出という事態は、国民及び政府に原子力発電の安全性に対する不信感を増大させた。これは、今後の原子力発電所の新設・増設計画にも大きな影響を与えるものと理解される。また、現在、多くの原子力発電所・火力発電所が運転を停止しており、東京電力等では需要に応じた電力供給ができず、経済活動・国民生活へ多大な影響を与えている。</p> <p>一方、蓄電技術、電力ネットワーク技術、自然エネルギー等の電力変換技術等の発展には目を見張るものがある。</p> <p>このような状況の下、現在のエネルギー政策の在り方を再検討する必要性が出てきた。</p> <p>そこで、日本学術会議では、21世紀を見通した日本のエネルギー政策について、国内外の情勢、エネルギー源の持続可能性、地球環境保全、経済的合理性、技術的安全性などを総合的に検討し、複数の選択可能性とその選択による国民生活・経済活動等の有り様を提示することにより、政府による検討に資することを目的とする。</p>
4	審議事項	21世紀を見通した日本のエネルギー政策について、国内外の情勢、エネルギー源の持続可能性、地球環境保全、経済的合理性、技術的安全性、社会の意識などを検討し、選択の可能性を示す。
5	設置期間	時限設置 平成23年4月8日～平成23年9月30日 常設
6	備考	6月上旬までに中間報告をまとめることを当面の目標とし、メール等による審議も活用する。